

山梨放送

活動名	「YBSアナウンサー お出かけおはなし会」
実施期間	令和7年12月16日・24日
実施回数	会場：2回

【事業実施の成果・課題】

<成果>

- ・例年通り、今年も「読み聞かせ」に対して多くの施設から希望があり、「普段、テレビやラジオで見聞きしているアナウンサーに絵本を読んで欲しい！」という期待の大きさを肌で感じた。
- ・本来、きらきら保育園で第1回を開催する予定が、当日朝、インフルエンザで急遽のキャンセルとなってしまったが、即時に、「中止ではなく延期で」と申し出があった。子どもたちが楽しみにしていたイベントを、何としても実現したいという想いを強く感じ、地方局にとって「読み聞かせ」は、社会・地域貢献の重要コンテンツだと再確認した。

<課題>

<第1回 くさかべ幼稚園>

- ・保育士さんから「アナウンサーというお仕事についてのお話や、質問ができる時間があると、子どもたちの興味がさらに広がると思います」といったご意見をいただいた。「読み聞かせ」という目的だけに留まらず、「話す／伝える／読む」といった基本的なコミュニケーションの大切さを伝える場にする工夫をしてみたい。

<第2回 きらきら保育園 和泉義治アナウンサー>

- ・年少から年長まで、一度に合わせて30人ほどの前で行いました。3冊を読む中、年中・年長さんは集中して聞いていましたが、年少さんは2冊目くらいからモゾモゾしていました。3学年一緒の場合、2冊目は「動きや仕掛けで変化のある本を選べば良かった」と思いました。

<第2回 きらきら保育園 水越千尋アナウンサー>

- ・課題としては、絵本選び。絵の大きさが重要だと再確認した。特に、人数が20人近くになる場合は、はっきり大きく書かれている絵本が合っていると感じた。

【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

＜第1 回くさかべ幼稚園 第2 回きらきら保育園、両方に参加 水越アナウンサー＞

- ・クリスマスシーズンという事でツリーを題材にした本を選んだが、季節や身近なテーマと結びついている話だと、子どもたちは楽しく聞いてくれる印象。
読み手としても楽しいし、読み聞かせの前後のトークも盛り上がる。
- ・子どもたちの年齢に応じて、絵本の理解度や集中力が違ってくる。特に年少までと年中以上との間に差が出てくるので、クラス分けを工夫するか、全クラス合同の場合は、絵本選びを慎重に行った方が良さそうだと感じた。

＜第1 回 くさかべ幼稚園 荒木美穂アナウンサー＞

- ・保育園児への読み聞かせは初めての経験でした。以前、行ったことがある同僚から「感情をこめて、子どもを巻き込んで読むと盛り上がる」とアドバイスを受けたので、それを意識して臨みました。初めに読み聞かせをした3・4歳児のクラスでは、小さい子どもたちが飽きないように「みんな次は何が出てくるかな？」など、話しかけながら進めていきました。やはり問いかけがあるのとないのでは反応が全く違うと感じました。続く5歳児のクラスでは、子どもたちの方から「ここにネズミがいるよ！」などリアクションが来たため、それに答えながら進めていきました。“読んで聞かせる”のではなく、一緒に楽しむことができたと思います。普段の仕事では、マイクやカメラを前に原稿を読むことが多いので、目の前で笑ったり喜んでくれたりする子どもたちの姿がとても嬉しかったです。また、「ここは盛り上げよう」と力を込めた部分は子どもたちにも伝わるようで、より多くの反応をもらえました。そして、絵本を全力で読むためには、想像以上にスタミナが必要なことも実感しました。
今後も表現力を磨き、またこのような機会があればぜひ挑戦したいと思います。

＜第2 回 きらきら保育園 和泉義治アナウンサー＞

- ・一度、延期になった園でしたので、心待ちにしてくれていたようです。
- ・3冊目に読んだ「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」は、「ひいひいひい…」を連呼するところを、子どもたちと一緒に読んで盛り上がりました。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

＜第1回 くさかべ幼稚園 子どもたちの感想＞

年少

「ひいひいひいひい…」とお部屋に戻ってからもお友だちと盛り上がっており、楽しく印象に残った様子でした。「今度図書館で借りたいな」「どこかにあるかな？」と、「また読みたい！」と言っている姿が見られました。

年中

「おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん」という絵本が、特に印象に残った様子でした。終わった後に感想を聞くと「ひいひい…おじいちゃんというところが面白かった」と教えてくれました。その後、お友だち同士で「また読んでほしいな」と話している姿も見られました。

年長

「おおきなツリーとちいさいツリー」では、最後に、大きなツリーと小さなツリーが2つ並んでいるのを見て、「かわいい」「どんどん小さくなるのが面白かった」と話してくれました。また、全体を通して「声がすごくきれいだった」「また読んでもらいたい」「他の絵本も一緒に見たい」「また来てもらいたい」と、印象に残る読み聞かせの時間になったようです。

＜第1回 くさかべ幼稚園 保育教諭の感想＞

- ・物語に引き込まれるような読み聞かせで、気付いたら保育者もとても集中して見ていました。言葉を丁寧に、正しく届ける大切さを改めて感じ、物語の魅力が伝わるような読み聞かせをしていきたいと思いました。
- ・間の取り方や、子どもたちが答えやすいような問いかけ方、抑揚のある語り口に、自然と引き込まれるようでした。言葉一つひとつが聞き取りやすく、物語の世界を楽しむことが出来ました。改めて、言葉を丁寧に届け、子どもたちが絵本の世界に夢中になるような読み聞かせをしていきたいと思いました。
- ・発音がはっきりしていて、一文一文がとても聞き取りやすかったです。また、表情が豊かで、視線を時々子どもの方へ向けることでより物語に引き込まれ、子どもたちも集中して聞いていると感じました。聞き取りやすい声のトーンで読み、子どもたちと視線を合わせ、心を通わせながら進めることの大切さを実感しました。

＜第2回 きらきら保育園 子どもたちの感想＞

- ・絵本のお話が全部おもしろかった。
- ・「ひいひいひい…」とみんなで言ったことがおもしろかった。（「おじいちゃんの～」の途中、園児に声出しの協力をお願いした部分）
- ・ちょびー（YBSキャラクター）の帽子をもらえてうれしかった。
- ・来てくれて嬉しかった。また来てほしい。

<保育士・職員の感想>

- ・表情や読み方から内容がよく伝わり、子どもたちも自然と引き込まれていた。
- ・子どもたちが楽しみながら参加ができる内容の本を読んでもいただき、貴重な時間になりました。
- ・「読み聞かせ」終了後、アナウンサーの方に興味を示した1歳児と長い時間遊んでもいただきました。子どもたちにとって、外部の方が保育園に来てくださるのはとても新鮮で、テンションMAXで全身を使って遊んでいました。ありがとうございました。